

# 同志社国文学

第 12 号

1 9 7 6

「天の真名井」の伝承と忌部氏……………	西原啓子	(1)
日本霊異記の聖……………	今井昌子	(16)
——山野に籠るもの——		
紫式部集における恋歌と哀傷歌……………	菅野美恵子	(30)
平家物語の因果観の構想……………	佐伯真一	(44)
——覚一本の評価をめぐる——		
写生説成立以前の子規……………	水上勲	(55)
『運命の訴へ』覚え書……………	内田満	(70)
——有島武郎・〈未完〉の周辺——		
鏡花作品の表現構造と謡曲……………	田中励儀	(98)
——『売色鴨南蛮』の場合——		
戦時下の文学〈その七〉……………	安永武人	(111)
漢語の類義語……………	浅野敏彦	(141)
——奇怪・奇特・奇異・不思議——		
論理的な思考力・認識力の育成をめざして……………	徳永光次郎	(155)
——坂口安吾『ラムネ氏のこと』の實踐から——		
〔視点〕配所の月……………	小森啓助	(90)
〔会員著書紹介〕……………		(93)
小森さんを送る……………	里井陸郎	(92)
彙報……………		(180)

同志社大学国文学会